

1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度・・・衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
- ・生活を工夫し創造する能力・・・衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。
- ・生活の技能・・・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
- ・生活や技術についての知識・理解・・・家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

月	指導計画	評価規準		評価方法
		(関) 生活や技術への関心・意欲・態度	(工) 生活を工夫し創造する能力 (技) 生活の技能 (知) 生活や技術についての知識・理解	
6月 7月	1 幼児の生活と遊び (1) 幼児のおもちゃ製作 (2) 幼児に関するポートフォリオ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達と生活の特徴について理解しまとめることができる。(技) ・幼児にとっての遊びの意義を理解している。(知) ・幼児にとっての遊びは生活そのものであることを理解している。(知) ・幼児に関心をもって遊び道具の製作をしている。(関) (工) ・幼児の発達段階を押さえた遊び道具を工夫し、製作することができる。(技) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント記述 ・ポートフォリオ ・口頭発表 ・定期考査 ・作品 	
1月	2 これからのわたしと家族 (1) 中学生と家族とのかかわり (2) これからのわたしと家族との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりや、これからの自分の生活に関心をもち、実践しようとしている。(関) ・家族関係をよりよくする方法を考え、工夫している。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント記述 ・口頭発表 ・定期考査 	

3 各学年の目標

- ・自分の成長を振り返ると共に幼児について理解を深める。
- ・乳幼児の体や心などの発達の特徴を知ることができる。
- ・乳幼児のおもちゃ作りに意欲的に取り組むことができる。
- ・自分や家族の生活を豊かにする物を考える

4 指導計画・評価計画表

2 月 3 月	3 布を用いた物の製作 (1)エコバック製作	・それぞれの製作過程で必要な用具が理解できる。(知) ・生活が豊かになる物を考えることができる。(工) ・基本的な縫い方を理解し、作業ができる。(技)	・プリント記 述 ・作品
------------------	---------------------------	---	--------------------